

< 今日の説教のポイント 出エジプト記 20 章 18～21 節 >

1 これまでの出エジプト記の振り返り — 神の民の誕生の経緯

2 年ぶりの「出エジプト記」です。これまで読んだ所で教えられた大事なことは、この世界を造られた神様がご自分のことを覚えて生きる民イスラエルを立てられたということです。それは、神様がその民の一人（モーセ）を選ばれ、彼を用いて民全体を苦しみの中から救い出されることによってなされました。それは、かつて神様の呼びかけに応じて従ったアブラハムに語られた約束とつながっていました（創世記 12 章 1-4 節）。約束を守られ、苦しみから救い出して下さる神であると旧約聖書は告げているのであり、新約聖書のイエス・キリストによる全ての民の救いを予示する出来事である点が大事です。

2 19 章振り返り — 救われた民と救った神との顔合わせ

19 章は、エジプト脱出の出来事が成った後、救い出した神と救われた民が向き合い、両者の関係を確認し合っている章です。今日の個所 20 章 18-21 節は 19 章の別バージョン（別の人たちによる記録）だと考えられています（実際、20 章 1-18 節の前がふさわしい内容）。ここでの大事な点は、救われた民が救って下さった神様に心から従うことを誓っている点です。救いの神を信頼し抜くこと、信仰の極意です。

3 20 章の振り返り — 十戒：救い出して下さった神様が示された！

神様はイスラエルの民に十の戒めを示されました。前半の 5 つは神様への向かい方、後半の 5 つは隣人への向かい方についての内容です。「～してはならない」という禁止命令ばかりで良い印象を持たないかもしれません。しかし、原語では、「あなたはもう私を知っているのですから～する必要はないでしょう。だったら～してはなりませんよ」といったニュアンスの表現なのです。また、十戒が述べられる直前に、「私は主、あなたの神、あなたをエジプトの家、奴隷の家から導き出した神である」(20 章 2 節)と言われている点が大事です。救い出して下さった神様だから聞き従うべきであり、彼らはそうすると言っているのです。この 10 の戒めは私たちが命の道に向かわしてくれるのです。

4 今日の個所(20:18-21)から教えられること

神様は畏れるべきですが、恐れる必要はないのです。試し（テスト）はこの先の人生に向けた準備だと思えばいいのです。感謝！